

## 「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 都府楼区

日 時 平成 20 年 4 月 23 日(水) 19:00 ~ 21:22

場 所 都府楼共同利用施設

出席者 (市 民) 42 人  
(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、石橋総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、関岡市民生活部長、松永健康福祉部長、木村建設経済部長、古川上下水道部長併会計管理者、松田教育部長、白石議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、大藪協働のまち推進課長、諫山地域コミュニティ推進係長

会議内容 ( 進行：今泉経営企画課長 )

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区長あいさつ (区長) 19:03 ~
- 3 市長あいさつ (市長) 19:04 ~
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:10 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:13 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:30 ~  
(別紙)
- 7 閉会あいさつ (副市長) 21:21 ~ 21:22

意見	質問	回答
意見 1	<p>J R 太宰府駅について、駅が整備されれば、税収が増える。それに関連して、太宰府市の基金についてよくわからないので説明してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>平成 17 年度決算ベースで、市の借金は 247 億円でした。平成 20 年度予算では 200 億円と 40 億円ほど減っています。市債の中身としては公共工事を行ってきたものです。主なものとしては、平成 15 年 7 月の災害で基金(財政調整資金)を 10 億円ほど使いました。1 年に 30 億ほど借金していたのも平成 20 年度予算では 19 億円と下がっています。佐野区画整理事業や地区道路整備事業など大きな公共事業は終了し、新たな借入は行いません。太宰府市の財政状況は好転し、その分で福祉・教育を充実させます。J R 太宰府駅については、マニフェストにも掲げておりますが、初めに J R ありきではありません。まず都府楼地区も含め、全体のまちづくりをどうするかが必要です。この道路が狭隘なのは承知しています。筑紫野市との関係がありますが、きちっとした整理をしていく必要があります。鳥瞰図を描く必要があります。その延長上に J R 太宰府駅があると考えます。</p>
意見 2	<p>水城西小学校の通学路の関係で、ちいさこべ幼稚園から杉塚までの 200m ほどの通学路が狭く子供たちが車が来たら田んぼに避けるすがたが見受けられる。危険である。</p>	<p>(市長)</p> <p>筑紫野市とのからみがありますが、農道を小学生が通学路としている実態があります。通学路の安全確保も努めていかなければならないと考えます。学校、教育委員会とも協議をしながら通学路の確</p>
意見 3	<p>7 時 45 分から 8 時 5 分の善光会館前の交通量が多い。日本通運の跡</p>	

	<p>地を通学路として拡幅できないか。または交差点の踊り場とすることはできないか。</p>	<p>保が可能なのか、また周辺のまちづくりもきっちり検討したいと思います。</p>
	<p>昭和 48 年に建築され、37 年も経っており、水城西小学校の校舎が古い。未来を担う子供たちのために、大規模改造できないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>児童・生徒の安全については地域力の低下の問題がありますので、みんなで支え、子供を大切についてことが大切と考えます。地域コミュニティづくりを訴えているのもそういった観点からです。水城西小学校では、大規模改修は行っておりませんが、小規模改修は行っています。</p> <p>協働のまちづくりを行うためには、拠点が必要と考えております。太宰府南小学校では、地域コミュニティセンターを南小学校の中に地域の拠点として整備しました。一長一短はありますが、小学校区単位のまちづくりを推進するうえで、既存の施設を活用し行っていきたいと考えております。平成 20 年度は水城小学校の大規模改造を行います。大規模改造は順次計画的に行っていきます。子供は次世代を担う大事な宝であり、教育環境の整備は力を注いで行きたいと考えております。</p>
	<p>44 行政区だいたい公民館の横に駐車場がある。都府楼区は特に高齢化しており、府楼共同利用施設の駐車場を確保できないか。また防火水槽用地を駐車場に利用できないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>他の公民館においても駐車場が無いところがいくつかあります。有事の際の利用の点からも、区民の皆様の協議に基づき、市の補助規程の中で、財政的な支援が必要ならば支援を行っていきたいと考えます。</p>

<p>意見 4</p>	<p>12 年前に福岡市から転居してきた。自宅付近が 15mm 程度の雨でも膝まで冠水し、雨が降っている間、陸の孤島となる。雨水幹線の整備を望む。</p>	<p>(市長)</p> <p>市の課題のひとつであると認識しています。市の中には側溝がないところ、または側溝があっても蓋がないところがあります。15mm 20mm で冠水するという事は、行政としてきちり対応していかなければならないと考えます。市の現在の状況は、限らせた予算の中で創意工夫しています。例えば地域再生支援事業など 5 年間で 13 億の国土交通省からの支援を頂き、道路整備を行います。この件につきましては、担当の方で現場を見て対応していきたいと思ひます。</p> <p>(上下水道部長)</p> <p>冠水に対する要望は、把握しておりますし、改修の計画もあります。道路の拡幅に伴う踏み切りの改良に併せて雨水幹線の改良を行うように考えていましたが、期間がかかりすぎるので、雨水については別に考えていくよう計画の変更を検討しております。まずは、冠水の解消が目的ですので、直ぐにという訳には行きませんが進めていきたいと考えております。</p>
<p>意見 5</p>	<p>老人憩いの家を整備するのに国からの補助があると聞いたが申請できていない。老人憩いの家の整備をお願いしたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>憩いの家については、国の補助ではありません。既存の公民館では狭く、集う場所が必要ということに対しましては、年間 400 万円の補助ということで現在も運用しております。申請があれば、全てが認められる訳ではありません</p>

		が、限られた予算の中で優先順位を決めながら実現する努力をしていきます。
意見 6	市内の中学校で正規の職員を配置していない科目がある。どうなっているのか。	(市長) 先生の配置についてはわかりません。この場にわかる者がいなければ、後日回答します。
	(市の回答を受けて) 太宰府東中学校の美術が講師一人しか配置されていない。備品の管理まで講師が行うのはおかしい。	(教育部長) 中学校 4 校の中で無いと判断しております。正式に後日回答いたします。
	都府楼区は古紙回収の熱心な地域で、400 万円ほど貯蓄し、その費用を公民館改築費に充当することが決定した。今後も古紙回収についての補助は打ち切られることはないか。また改築するのに補助はあるか。	(市長) ごみを減らすことは基本です。生活をするうえでやむを得ないことですが、コストがかかっております。現在、大野城環境施設組合がありますが、老朽化し、広域行政の中で、南部清掃組合として新たな施設の建設を目指し調査研究しております。古紙回収については、ごみ減量の意識を市民の皆様にかけていただくうえで、効果があったと思っています。リサイクルは地球環境においても大切と考えます。 (市民生活部長) 市では古紙回収に非常に力を入れております。この制度は当分の間は続けてまいります。
意見 7	都府楼区で元気教室を開催する。検診車を 1 年に 1 回程度特定の場所によこしてもらえるのか伺いたい。	(市長) いきいき元気教室の創設は大変よいことと思います。地域をあげて健康問題を考えることなどに対する支援は行政が行うべきと思います。全部に渡ってではなく、講師の派遣などポイントポイントの
意見 8	都府楼区の高齢化率が進んでいる。都府楼区は、5 年前は高齢化率が 17 位だったが 7 位までになっ	

	<p>た。500人以上の高齢者がいる地区全部で4区あるが、都府楼区以外は人口も多いため、高齢化率は高くない。都府楼区は、1・2位を争う。そのため、元気教室を毎月行うこととした。ついては、保健センターは3回ぐらいしか協力できないとのことであったが、支援をお願いしたい。</p>	<p>支援について行政が担っていく必要があると思います。保健センターなどにご相談いただき、可能な限り支援していきたいと思いません。</p>
意見9	<p>元気教室などを開催するのにプロジェクターとスクリーンなどを購入するのに補助制度はないか。</p>	<p>(市長) 公民館の施設整備補助がありません。備品の購入は不明ですが、制度としてあれば可能であると思います。</p>
	<p>水城西小学校の図書の本が少なくて汚い。小学校の図書を充実してほしい。また図書司書は配置しているのか。</p>	<p>(市長) 本来図書司書は県費で行うようになっていますが、実際には配置されていません。それを補完的に臨時職員・嘱託職員で対応しています。教育問題には、軸足を置いておりますので、可能な限り支援していきたいと思っております。</p>
	<p>後期高齢者の制度で市でも対応を苦慮している。この制度を無くしていく方向の立場で市長・議員に発言してほしい。</p>	<p>(市長) この制度は今始まったばかりです。問題はありますが、国の中で行なうべきことと思っております。地域間の格差も全県下において平準化されることは良いことであると考えております。保険税の取扱変更により年金が圧縮されたことなどは改善の余地があると思いますが、保険については全県で取り組むべきことであると思われるぐらい、医療費の問題は、1自治体の抱えるべき範囲を超えておると思っています。お互いが医療費を</p>

		適正に使用することなど被保険者の皆様にもお考えいただくことがたくさんあると思います。そのひとつが、元気いき教室であると思います。それらを市としては支援していきたいと考えます。
	保育所が民営化されているが、意見6同様正規職員の配置をお願いします。	(市長) 子育て支援の中で40名の待機児童を無くす努力をしています。既存の保育所を60名の定員から90名に条例改正しました。民間委託は、市では昭和40年代から行っています。財政状況などこのような状況下で、それだけ少ない職員数で対応可能な状況があります。民間委託が悪いとの声がありましたが、決してそのようなことはないと説明しております。保育事業に関しては、あくまで外部委託していく方針です。真に官がしなければならない事業は官で行いますが、あらゆる分野において、むしろ民で行った方が良く、流動性があるような事業は、民に任せていきたいと思っています。サービスの低下などが起こらぬように担保しておりますので、ご理解いただきたいと思っています。
意見10	成人病健診制度が変更になったが、現役世代への通知はどうなっているのか。他市は通知が来ている。	(市長) 特定健診は、それぞれの保険者が行うようになっております。私の場合は、共済組合になりますが、それぞれの職域で行うようになるため、隅々まで通知は行き渡るのではないかと思います。
意見11	元気教室を土日に開催する場合、	(市長)

	<p>職員は対応できるのか。</p>	<p>現在、市では第2、第4土曜日開庁を試行いたしております。1日50名前後の皆様にご利用いただいております。職員は、基本的に時間外手当の対象ではなく、他の曜日に休日を振替えることで対応しております。他の事象で土曜日、日曜日に出る必要がある場合は、喜んで出ると思います。</p>
<p>意見12</p>	<p>両親が90歳超える高齢者である。介護ヘルパーの利用について、自己申請で、たまたま制度を知った。そのことを知らない太宰府市のお年寄りがどの位いるかと思うと不安に思う。他医療費の通知も老人世帯に送付されるが、認知症が入り始めた老人では、内容がよく理解できない。内容をもっとわかりやすく書けないか。また市で直接説明に来る等補完的対応ができないか。市の職員に聞いても担当できないとわからないと言われたので、市民はまして判らない。</p> <p>年金生活者の住民税が高くなった。所得税と住民税の率が変更で差し引き0と言われていたが、年間で6万くらい上っている。それに加えて後期高齢者の費用負担も増加した。それらを説明するために、自治体として住民に出せる文章があれば、また、もし説明に向くことが可能であれば、文書を出すだけでなく、介護が必要と思われるお年よりの実態を市で調査</p>	<p>(市長)</p> <p>介護保険については、制度を利用する必要が生じた場合、予め申請をする必要があります。ケアマネージャーが自宅を訪問し、地区介護認定審査会を経て、1~5まで介護認定なされます。判りやすく表現することは当然だと思えます。「市役所はサービス産業」であり顧客は市民の皆様と考えておりますので、その満足度をいかに達成するかが課題と思っています。そのような基本を踏まえて、判りやすい説明のため専門用語とかは避けるなど、ご意見を反映していきたいと思えます。</p> <p>恒久減税の廃止により、所得税と住民税の率が変更になり、合わせると変わらないとの説明を国はしました。市県民税は減っておりますが、市は他所と違って税込そのものは上っており、これは通古賀区画整理事業や佐野区画整理事業などによる固定資産税収増の取組みによるものと考えております。人口も減ることなく、この活力を持続し、10年後を見据えたま</p>

	<p>することを一度お願いしたい。</p> <p>市役所の窓口で待たされる。担当だけでなく手空きの職員も市民に声をかけてほしい。</p>	<p>ちづくりを行っていきたいと思います。</p>
意見 1 3	<p>後期高齢者の問題で出前講座を2度開催開いた。それは丁寧な行政ではない。福岡市では、各公民館毎ではないが、ある程度の範囲を決めてしたと聞いていた。</p>	
意見 1 4	<p>J R 太宰府駅の出来る可能性は。出来たからといって、J R 都府楼駅が無くなるのは困る。</p>	<p>(市長)</p> <p>市民の中には、必要、不要と色々ご意見はあると思います。佐野東のまちづくりを全体的にどうするのかは、通学路の問題など含めて、構想が大事だと考えます。平成 20 年度末までに目処をつけていきたいと考えます。先に結論として J R 太宰府駅有りきではなく、皆様の意見をお聞きしながら決定していきたいと思います。将来の太宰府にとって必要とされれば、勇気を持って歩みたいと思います。</p>
	<p>市職員の電話対応で必ず名前を名乗ってほしい。民間なら必ず名乗る。後日質問する際、容易になるので必ず名乗ってほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>接遇マナーについては、市民への丁寧な対応に心がけるのは人として当然だと思います。その当然のこが出来ていないのであれば、注意喚起を再度したいと思います。</p>
	<p>全国学力テストの結果は公表しないのか。集計分析は、県で行うのか市で行うのか。地域間の差など知りたい。結果に問題があれば、克服する努力が可能になる。分析は行ったのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>学力テストの問題は、實際上教育委員会の問題ですが、現状結果として相対的に申し上げますと平均より上であったということがありました。</p>
意見 1 5	<p>各家庭の火災報知器はいつまでに</p>	<p>(市長)</p>

	設置しなければならないのか。詐欺などがあっては困る。	各家庭においても火災報知器の設置が義務づけられております。今すぐでなく、3年間の猶予期間があります。 (地域コミュニティ担当部長) この間、広報とかでもお知らせしておりましたが、今後も積極的にお知らせしていきたいと思えます。正確な期日については、後でお知らせいたします。
意見 16	認知症の家族を介護するに当たり要介護度が低いとヘルパーがあまり来ない。市民のボランティアがあることを知らなかったので広報に載せて知らせてほしい。	(市長) 福祉については、社会福祉協議会が主軸でやっておりますので、私どもの方からも言っておきたいと思えます。問い合わせさせていただきたいと思えます。
	成年後見制度について、市民課で住民票を取ろうとしたら、市民課の職員が制度について理解していなかったため、そのような制度については少なくとも窓口は周知徹底してほしい。	(市長) この制度は、今からの高齢者社会を変える制度として必要な制度と認識しています。またマニフェストの中でも約束をしております。具現化のために、社会福祉協議会とタイアップしながらより制度の高いものにしていきたいと思えます。また、窓口の中でそのことが常識となるよう、またアウトラインだけでも説明ができるようにしておくのは職員として当然のことと思えます。そういった方向で研修研鑽をさせたいと思えます。
意見 17	コミュニティバスについて話し合いと聞いて参加したら一方的な説明会だった。4月から変更となったダイヤはとても不便である。もとに戻してほしい。採算がとれな	(市長) コミュニティバスは、弱者のためという観点から出発していません。 平成 10 年 4 月にスタートしま

	<p>いのかもしれないが、他市とも話し合って、高齢者も安心して乗れるバスにしてほしい。</p>	<p>したが、それ以後市の高齢化がより顕著になってきています。高齢者の皆様の外出の支援策として必要になってきております。昭和50年に造成された団地に居住する高齢者の方が一人で外出できるように支援する一つのツールと考えております。ただ、皆様に利用してもらわないと運行そのものも税金の無駄遣いという意見が一方ではあります。</p> <p>私は、高齢者の支援のために費用がかかっても道路と同じで整備していかなければならないと思います。今回、西鉄都府楼前駅をキーステーションに改正しております。乗り継ぎに時間を要していることや、高齢者などの問題も承知しております。もう少し試行していく中で変更すべきことがあれば、元に戻すことも含めて検討いたします。また、今回、携帯電話でバスの到着がわかるようになりましたし、待合室も座って待つことができるように整備したいと思います。どうかご利用をお願いします。</p>
--	---	---